

# 松竹大歌舞伎

製作 松竹



なかむらきんのすけ  
中村錦之助



なかむらはやと  
中村隼人



いちかわえみさぶろう  
市川笑三郎



いちかわせいこ  
市川青虎



かみむらきちや  
上村吉弥

ご挨拶

一、**双蝶々曲輪日記** 一幕

二、**身替座禪** 常磐津連中  
長唄囃子連中

三、**新古今の内**

岡村柿紅作

### ◆ご挨拶

### ◆双蝶々曲輪日記 引窓

南与兵衛 十次兵衛

後南方 早

女房 お早

濡髪 五郎

### ◆身替座禪

山蔭 右京

太郎 冠者

侍女 千枝

同女 小枝

奥方 玉の井

中村隼人

市川笑三郎

市川青虎

市川隼人

市川吉弥

市川青虎

市川吉弥

市川青虎

市川吉弥

市川青虎

市川吉弥

### あらすじとみどころ

#### ◆双蝶々曲輪日記 引窓

石清水八幡宮にほど近い八幡の里にある南与兵衛の家。亡き父の後妻となった義母お幸と女房お早が放生会の準備をしているところへ、相撲取りの濡髪長五郎が人目を忍んで訪ねてきます。幼い頃に養子に出されたお幸の実子である長五郎は、主筋への義理で人を殺めてしまい、母に一目会おうとやってきたのです。そこへ代官に任命され、父の名である南方十次兵衛を名乗ることが許された与兵衛が帰ってきます。お幸とお早は与兵衛の出世を喜びますが、与兵衛に命じられた初仕事は人相書の男を捕縛することです……。

仲秋の名月を翌日に控えた京都を舞台に、互いを思いやる親子の苦悩と情愛が描き出される義太夫狂言の名作。明かり取りの天窓(引窓)を舞台装置として巧みに用いながら、美しい月明かりのもとで展開する心温まるひと幕をご堪能ください。

#### ◆身替座禪

大名の山蔭右京は、大の恐妻家でありながら浮気性。愛人の花子が都へやって来たことを知り、なんとか会いたいと願いますが、奥方玉の井が外出を許しません。そこで右京は、邸内の持仏堂に一晚中籠って座禪をしようと嘘をつき、家来の太郎冠者に座禪衾を被せて自身の身替りにし、花子のもとへ向かいます。しかし、このことが玉の井に知られ……。

狂言の大曲「花子」をもとにした舞踊劇。花子と一夜の逢瀬を叶え、ほろ酔い加減で帰ってきた右京が、自身と花子を踊り分けながらその様子を物語る場面はみどころの一つです。怒りに打ち震える玉の井と、それに気づかず浮かれた様子の右京の対比が面白く、現代にも通じる夫婦のやり取りがユーモアたっぷりに描かれます。松羽目物に相応しい格調と品格のなかに、可笑しみが溢れる舞台をお楽しみください。

2024年 11月6日 水

昼公演 開演 13:00 [開場 12:15]

夜公演 開演 17:30 [開場 16:45]

札幌市教育文化会館大ホール

札幌市中央区北1条西13丁目

◆チケット料金(全席指定・税込) 一等席:11,000円 | 二等席:8,800円

※お弁当の販売はございません。 ※イヤホンガイドの貸出があります。

チケット取り扱い

■道新プレイガイド TEL.0570-00-3871 <https://doshin-playguide.jp>

■セイコーマート店内マルチコピー機 [セコマコード:A24110601]

■市民交流プラザチケットセンター(北1西1 札幌市民交流プラザ2階) ほか

※ご購入方法によって手数料がかかる場合、座席をお選びいただけない場合がございます。詳しくはお買い求めの店舗にてお問い合わせください。

一般発売:8月1日(木)

主催:北海道新聞社、エフエム北海道、道新文化事業社、札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)

後援:札幌市、札幌市教育委員会

ご購入  
お問い合わせ

道新プレイガイド TEL.0570-00-3871  
札幌市中央区大通西3丁目 道新本社1F [営業時間]10:00~17:00(日曜定休)

メルマガ会員募集中!  
<https://doshin-playguide.jp>

宅便で道内どこでも指定日、  
指定時間帯にチケットをお届けします。  
※お客様のご負担として別途送料が加算されます。

